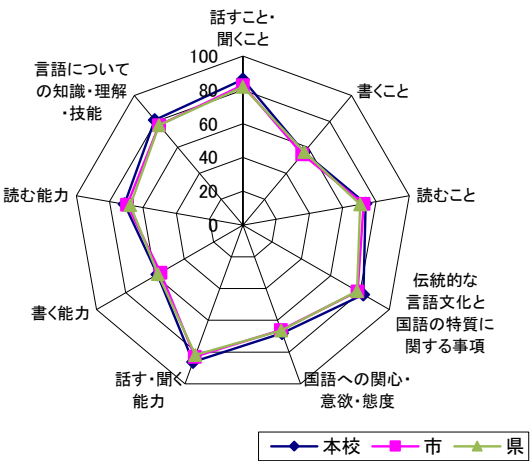


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	86.2	82.9	81.8
	書くこと	56.3	54.8	56.5
	読むこと	73.8	72.6	70.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	82.3	78.4	78.1
観点	国語への関心・意欲・態度	68.0	66.0	66.4
	話す・聞く能力	86.2	82.9	81.8
	書く能力	58.3	56.3	57.9
	読む能力	71.1	69.5	67.6
	言語についての知識・理解・技能	81.1	77.2	77.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○本領域の平均正答率は、86.2%であり、県の正答率を4.4ポイント上回った。 ○話し合いにおいて司会の役割として、参加者の発言の共通点をまとめる問題の正答率は、81.9%であり、県の正答率より6.9ポイント上回っている。	・話し合いの手順は理解しているので、国語の授業だけではなく、学級活動や児童会活動などの場でも活用できるようにする。その際には、個人やグループの意見の共通点や相違点を整理し、それぞれの考えを反映させながら一つの考えに集約できるように指導していく。また、個人差を埋めるため、いろいろな役割を全員が体験できるように活動の場を工夫する。
書くこと	●本領域の平均正答率は、56.3%であり、県の正答率を0.2ポイント下回った。 ○意見をもとに、ポスターの文を書く問題の正答率は64.7%で、県の正答率より5.9ポイント上回っている。 ●指定された長さで文章を書く問題の正答率は56%で、県の正答率を5.9%下回っている。	・分かったことをもとに、自分の意見をまとめる際には、内容を精査し、段落や文字数などの条件に合わせて文章を構成させるようにする。また、自分の文を読み返し、書き直しをする場面も設定する。
読むこと	○本領域の平均正答率は、73.8%であり、県の正答率を3.3ポイント上回った。 ○段落のまとまりを理解して文章の内容を的確に読み取る問題の正答率は50%であり、県の正答率より9.7ポイント上回っている。	・読書活動を推進し、様々な分野の文章に触れる機会を作る。 ・物語文の読解では、叙述に即して文章を読んだり、登場人物の気持ちが分かる文や言葉に注目したりできるようにする。説明文の読解では、段落の構成に気を付けて要旨を読み取ることができるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○本領域の平均正答率は、82.3%であり、県の正答率を4.2ポイント上回った。 ○漢字の読み書きは全ての問題において、県の正答率を上回った。	・漢字学習へ意欲的に取り組む児童が多いので、引き続き指導継続していく。文や文章を書く際には、漢字の持つ意味を考えながら正しく使ったり、当該学年の前の学年までに学習した漢字を意識して使ったりするように指導する。